

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公表番号】特表2009-543579(P2009-543579A)

【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2009-520824(P2009-520824)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
C 0 7 K	19/00	
C 0 7 K	16/00	
C 0 7 K	16/28	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	31/06	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	29/00	

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月16日(2010.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

単離または組換え可溶性WSX-1/p28ポリペプド複合体、単離または組換え可溶性WSX-1/EBI3ポリペプチド複合体、単離または組換え可溶性WSX-1/IL-27複合体、単離または組換え可溶性gp130/p28ポリペプド複合体、単離または組換え可溶性gp130/EBI3ポリペプド複合体、単離または組換え可溶性gp130/IL-27複合体、またはその変異体を含む組成物。

【請求項2】

二つまたは複数のT細胞、一つまたは複数のB細胞、肥満細胞、好中球、マクロファージ、樹状細胞、gp130を発現する細胞、またはWSX-1を発現する細胞をさらに含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記T細胞が、IL-2、IFN-、TNF-、IL-6、IL-4、IL-13、IL-17、IL-25、IL-10、IL-5、またはCD25の改変された発現、増殖の改変、または改変された生存を示す、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

形質転換増殖因子を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

組換えまたは単離されたWSX-1融合タンパク質であって、

細胞特異的マーカーを認識する一つまたは複数のドメイン、

p28またはEBI3に由来する一つまたは複数のポリペプチドドメイン、または、

細胞特異的マーカーを認識する一つまたは複数の抗体ドメイン

を含む、組換えまたは単離されたWSX-1融合タンパク質。

【請求項6】

前記細胞特異的マーカーがCD4、CD8、CD11c、CD11b、およびNK1.1から選択される、請求項5に記載の組換えまたは単離された融合タンパク質。

【請求項7】

組換えまたは単離されたp28融合タンパク質であって、一つまたは複数の抗体ドメインを含み、前記抗体ドメインの少なくとも1つが細胞特異的マーカーを認識する、組換えまたは単離されたp28融合タンパク質。

【請求項8】

前記細胞特異的マーカーがCD4、CD8、CD11c、CD11b、およびNK1.1からなる群から選択される、請求項7に記載の組換えまたは単離された融合タンパク質。

【請求項9】

可溶性WSX-1ポリペプチド、可溶性WSX-1/p28ポリペプチド複合体、または可溶性WSX-1/IL-27ポリペプチド複合体に特異的に結合する抗体。

【請求項10】

哺乳動物患者への投与を含む、炎症性疾患の治療剤製造のための、組換えまたは単離された部分の使用であって、前記部分が、可溶性WSX-1ポリペプチド、p28ポリペプチド、可溶性WSX-1/p28ポリペプチド複合体、可溶性WSX-1/EBI3ポリペプチド複合体、可溶性WSX-1/IL-27ポリペプチド複合体、可溶性gp130/IL-27複合体、可溶性gp130/p28ポリペプチド複合体、可溶性gp130/EBI3ポリペプチド複合体、p28ポリペプチドおよび可溶性WSX-1ポリペプチド、EBI3ポリペプチドおよび可溶性WSX-1ポリペプチド、IL-27および可溶性WSX-1ポリペプチド、可溶性gp130ポリペプチドおよびp28ポリペプチド、

可溶性 g p 1 3 0 ポリペプチドおよび I L - 2 7 、可溶性 g p 1 3 0 ポリペプチドおよび E B I 3 ポリペプチド、 g p 1 3 0 / W S X - 1 / I L - 2 7 複合体に特異的に結合し、
またはその活性を調節する部分、およびこれらの変異体からなる群より選択される、使用
。

【請求項 1 1】

前記炎症性疾患が、免疫異常、感染、癌、アレルギー、関節炎、喘息、炎症性腸疾患、
クローン病、ブドウ膜炎、乾癬、狼瘡、多発性硬化症、慢性感染性疾患、結核、強直性脊
椎炎、移植片拒絶、サルコイドーシスおよび肝炎からなる群から選択される、請求項 1 0
に記載の使用。

【請求項 1 2】

前記投与の前に、前記炎症性疾患の前記**哺乳動物患者の診断を含む**、請求項 1 0 に記載
の使用。

【請求項 1 3】

前記組換えまたは単離された部分が、形質転換増殖因子 と組み合わせて前記患者に投
与される、請求項 1 0 に記載の使用。